スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県 高山市

自 治 体 名 ： 岐阜県高山市
担 当 課 名 ： 高山市教育委員会　学校教育課
電 話 番 号 ： ０５７７-３５-３１５４

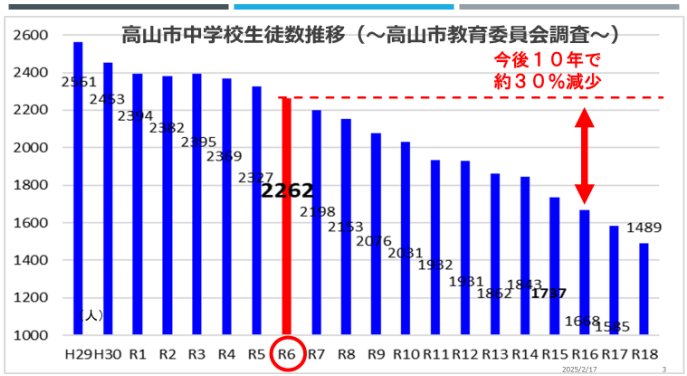
1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	2,177.61 ㎢
人口	82,476 人
公立中学校数	12 校
公立中学校生徒数	2,262 人
部活動数	101 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題



【高山市】〈地域移行の現状と課題〉

・高山市は面積が広く、規模の異なる学校がそれぞれの地域に点在している。

・中学校が１２校あるが、支所地域と高山地域との距離が遠い。

・大きな地域総合型スポーツクラブはなく、一律の地域移行が難しい。

・高山市の中学校生徒数は、年々減少し、１０年後には、約３０%程度減少する。１つの学校で地域クラブが成立しない状況がある。

・現在は、７種目で地域移行が進められている。（部活動も残っている。）

・課題点は大きく３つ。

①指導者の確保と質　②安定的な活動場所の確保　③支所地域と高山地域の移動手段

◎令和７年度４月のスタート、高山市型地域移行を目指して取り組んでいる。

【１１月１４日（木）中学校部活動地域移行検討委員会拡大プロジェクト会議を開催】

・通常のメンバーに加え、各競技種目の連盟・協会の代表者、高等学校の代表者（高体連関係）に参加を依頼。

・高山市型として、持続可能な地域移行を考慮し、各連盟・協会に対して、運営団体となって進めていくように依頼をした。

・１月末までに、各連盟・協会より進捗状況を確認し、令和７年４月から地域クラブとしてスタートが可能かを決定する。

・令和2年に第１回目の中学校部活動検討委員会を行ってから、令和7年２月で通算１４回目となる。年間３回の検討委員会を実施してきた。（１３回目が拡大プロジェクト会議）

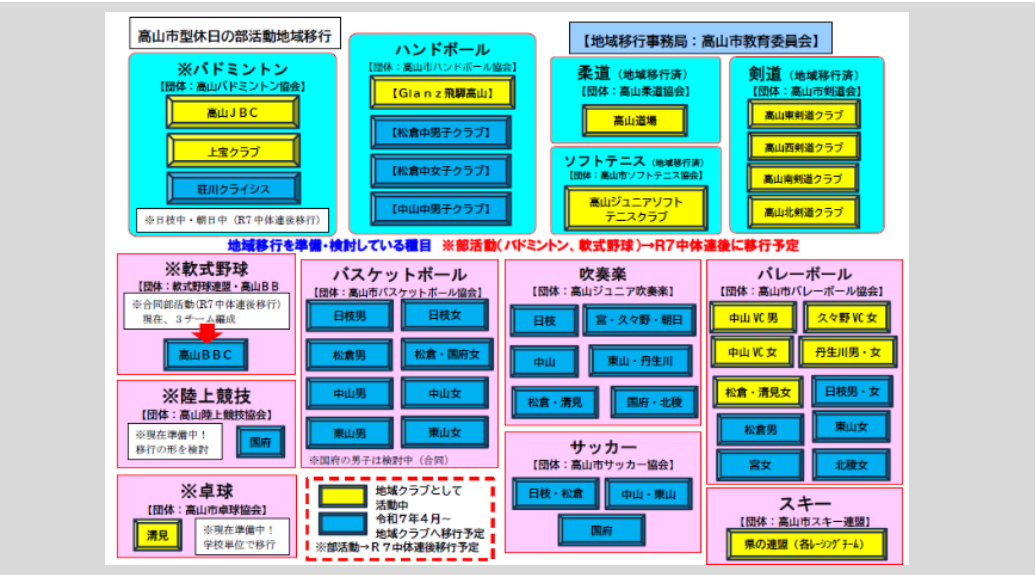
・各学校や家庭への周知の他に、市の広報様々なPR活動を行ってきた。（市民等への周知）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（学校教育課：事務局、教育総務課：施設管理）

・各競技種目の連名・協会と協力・連携、相談、助言を行う。
・地域クラブを教育委員会に登録（承認申請）。指導者の登録（謝金の活用）。
・市として２つのことを補助　①指導者謝金の補助　②学校施設改修工事（活動場所）

◉首長部局（市民活動部：スポーツ推進課、生涯学習課）

・指導者に対する研修会の実施
・学校施設以外の市の施設の管理運営（地域クラブの登録・承認：施設利用）
・既存のクラブ、部活動に存在しない競技種目の管理

年間の事業スケジュール

令和６年　４月	地域クラブの承認申請 地域クラブ指導者の登録
令和６年　６月	中学校部活動地域移行検討委員会（第１回）
令和６年１０月	各競技種目の連盟・協会代表者との面談（５～１０月随時行った）
令和６年１１月	中学校部活動地域移行検討委員会拡大プロジェクト会議（第２回）
令和６年１２月	庁内での報告や確認 他課との協力・連携、情報共有
令和７年　１月	令和７年４月のスタート準備
令和７年　１月	学校関係者への説明 生徒・保護者への説明
令和７年　２月	中学校新入生説明会
令和７年　２月	中学校部活動地域移行検討委員会（第３回）
令和７年　３月	令和７年度の準備・調整
令和７年　４月	地域クラブの承認申請 地域クラブ指導者の登録

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	１２校	実施した地域クラブ総数	１５クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		１１ クラブ（２０部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		４ クラブ
全体の指導者数	２４ 人	全体の運営スタッフ数	２８人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
Glanz飛騨男子	高山市ハンドボール協会	ハンドボール	月１２回／週３回（平日含む）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～３年男子	1年	市内施設 市内中学校	２ 人	２～3人（庶務担当あり）	月会費 5,000円 年会費 5,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
Glanz飛騨女子	高山市ハンドボール協会	ハンドボール	月１２回／週３回（平日含む）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～３年女子	1年	市内施設 市内中学校	２ 人	２～3人（庶務担当あり）	月会費 5,000円 年会費 5,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
高山Jr.STC※高山ｼﾞｭﾆｱｿﾌﾄﾃﾆｽｸﾗﾌﾞ	高山ソフトテニス協会	ソフトテニス	月４回／週１回（休日のみ）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～３年男子（女子）	1年	市内施設 市内中学校	２人	２人	月会費 2,500円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
高山道場	高山市柔道協会	柔道	月１２回／週３回（平日含む）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～３年男子（女子）	1年	市内体育施設	２人	２人	月会費 3,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
高山中学剣道クラブ（東クラブ）	高山剣道会	剣道	月４回／週１回（休日のみ）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～3年男子（女子）	1年	市内中学校	２人	２人	月会費3,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
高山中学剣道クラブ（西クラブ）	高山剣道会	剣道	月４回／週１回（休日のみ）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～3年男子（女子）	1年	市内中学校	２人	２人	月会費3,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
高山中学剣道クラブ（南クラブ）	高山剣道会	剣道	月４回／週１回（休日のみ）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～3年男子（女子）	1年	市内中学校	２人	２人	月会費3,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
高山中学剣道クラブ（北クラブ）	高山剣道会	剣道	月４回／週１回（休日のみ）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～3年男子（女子）	1年	市内中学校	２人	２人	月会費3,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
高山JBC	高山ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ協会	バドミントン	月１２回／週３回（平日含む）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～3年男子（女子）	1年	市内施設 市内中学校	１人	２人	月会費2,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
上宝クラブ	高山ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ協会	バドミントン	月４回／週１回（休日のみ）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～3年男子（女子）	1年	市内施設 市内中学校	１人	１人	月会費2,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
VC中山男子	NPO法人飛騨高山ｱｸﾃｨﾌﾞｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ	バレーボール	月１２回／週３回（平日含む）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～3年男子（女子）	1年	市内施設 市内中学校	１人	２人	月会費 ２,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
VC中山女子	NPO法人飛騨高山ｱｸﾃｨﾌﾞｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ	バレーボール	月１２回／週３回（平日含む）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～3年男子（女子）	1年	市内施設 市内中学校	１人	２人	月会費 ２,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
KugunoVC女子	高山市バレーボール連盟	バレーボール	月１２回／週３回（平日含む）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～3年女子	1年	市内施設 市内中学校	２人	2人	月会費 5,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
丹生川バレーボールクラブ男子	高山市バレーボール連盟	バレーボール	月１２回／週３回（平日含む）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～3年男子	1年	市内施設 市内中学校	１人	２人	年額40000円（男子）	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
丹生川バレーボールクラブ女子	高山市バレーボール連盟	バレーボール	月１２回／週３回（平日含む）	AM 9～12 PM 13～16	中学１～3年女子	1年	市内施設 市内中学校	１人	２人	月会２,500円（女子）	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●Glanz飛騨は、市内誰でも加入できるクラブのため、部活動が移行したクラブではないため、体験会等を行って活動をPRしている。

2.実証内容と成果

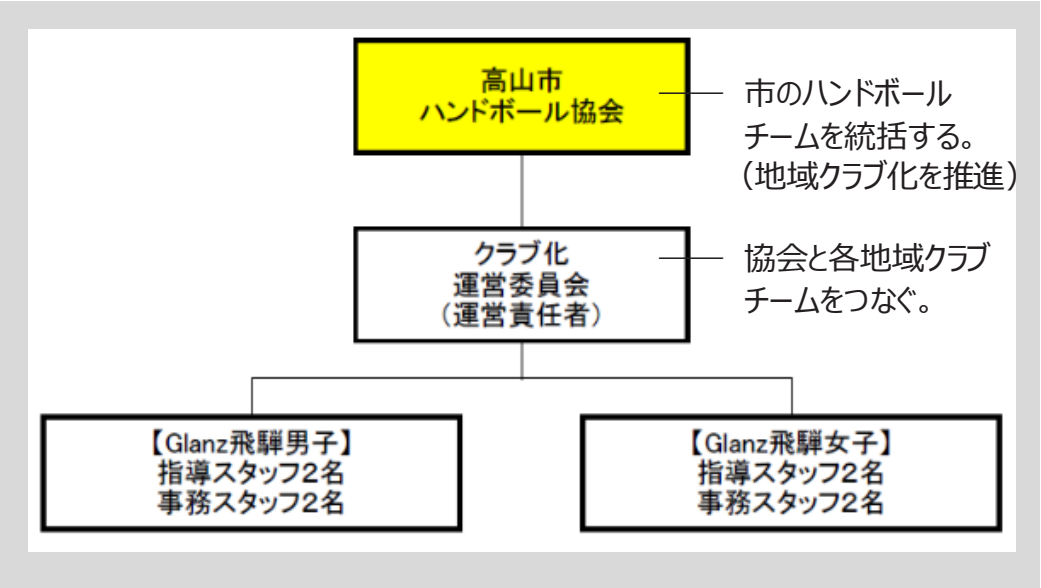
スポーツ庁

主な取組例

●Glanz飛騨（ハンドボール）　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ハンドボール
運営団体名	Glanz飛騨
期間と日数	ハンドボール：週に３回×４週 （平日２日、休日１日） 月１２回程度（など） ※土日祝は月４回程度×１２か月
指導者の主な属性	社会人指導者（主に会社員、教員）
活動場所	飛騨高山ビッグアリーナ 中山中学校ほか
主な移動手段	自転車、自家用車
１人あたりの参加会費等（年額）	5,000円／月 60,000円／年
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,200円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者　１名

役割：全体的なクラブの運営管理（登録、大会関係申請、練習計画）

●主任指導者（指導スタッフ）　２名

役割：基本練習指導、練習試合指導・引率、大会指導・引率など

●運営補助者（事務スタッフ）　２名

役割：指導の補助、運営補助など

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

令和５年度･･･11名（2種目）
令和６年度･･･23名（6種目）
令和７年度･･･108名（全種目）

・連盟・協会による指導者の確保及び地域クラブへの配置
・指導者説明会（申請・登録）
・指導者研修会（質の向上）

登録者属性

高山市は、人材バンクは設置せず、各競技種目の連盟・協会に配置を依頼した。

指導者の属性としては、社会人指導者、教員など多様である。

種目

各競技種目（吹奏楽を含む）が確保・配置
剣道、柔道、ハンドボール、ソフトテニス、バドミントン、バレーボール、卓球、軟式野球、サッカー、陸上、バスケットボール、吹奏楽など

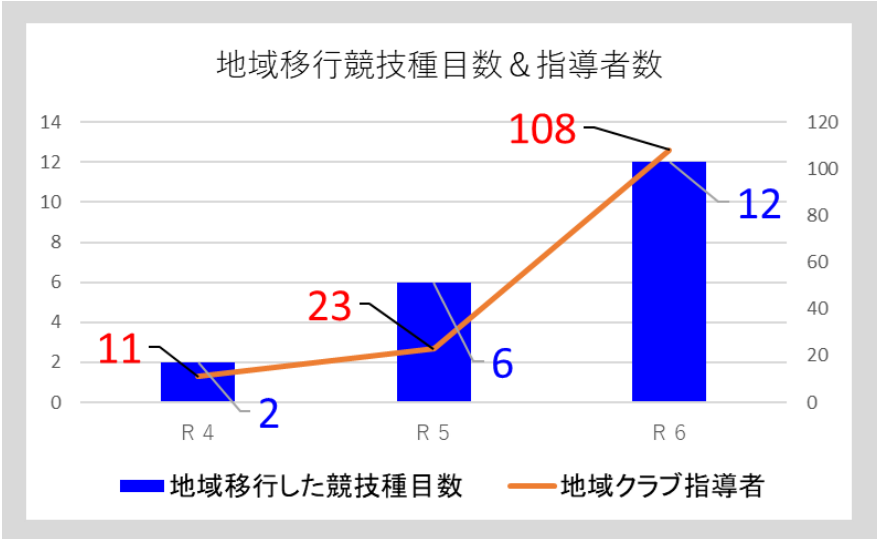
資格有無

・各競技種目のルールに基づく
・県の研修会
・各競技種目のライセンスを取得
・市独自の研修会
・県のガイドライン遵守

取組の成果

11月14日（木）中学校部活動地域移行検討委員会「拡大プロジェクト会議」を開催した。通常の検討委員会のメンバーに加え、各競技種目（吹奏楽を含む）の連盟・協会の代表者、高等学校の代表者に参加していただき、現状を伝えた。その際、地域移行事務局より、各競技種目（吹奏楽を含む）の連盟・協会に対して、地域クラブの運営団体となり、地域クラブの立ち上げ及び指導者の配置を依頼した。
１月末には概要を決定し、令和7年4月から地域クラブとしてスタートを目指している。連盟・協会の働きかけにより、指導者が確保できている。

地域クラブ指導者数について、令和４年は２種目11名、令和５年には６種目23名。令和７年は12種目すべてで108名（見込み）となる予定である。



2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

地域クラブ指導者に対する研修として、部活動指導員と同じ研修内容の資料を配付して説明した。参集での開催は難しかったため、担当者が指導者に対して、登録・申請を行う際に、直接説明を行うことで研修とした。毎月の報告を受けて、注意点や改善点について伝えた。

〈研修内容〉

・岐阜県中学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関するガイドラインを遵守すること

・活動時間の徹底（練習量の調整）

・中学生対象の指導について留意すべきこと（通常の指導だけでなく、体罰や行き過ぎた指導等、コンプライアンスに関わる事項）

・学校や連盟・協会との協力・連携を行うこと

指導者研修の参加実績

・開催日：　４月～５月の午後に実施

・開催回数：　地域クラブ指導者に対して複数回

・参加人数：　２３人

※競技種目ごとに数人のグループを作成して行った。

受講者の声

・今までに社会人指導者として行ってきた経験があるが、競技種目の技術指導ができればよいと思っていたが、中学生期の育成は非常に重要であり、様々なことを考慮していく必要があることを改めて学んだ。

・勝利至上主義だけでは、一人一人の選手や人間性は育てられないことやチーム力も上がらないことが分かった。しかしながら、勝ちにもこだわることは大切であり、選手のモチベーションを保ちながら指導を続けていき、一番は一人一人が楽しみながら、自分がやりたいことを気持ちよくできる環境を整えていくことが大切であると感じた。

・地域クラブとしての活動なので、保護者にも負担がかかることが考えられるので、選手と指導者、そして保護者とが協力・連携することが必要不可欠であると感じた。

今後の課題と対応方針

●地域クラブ指導者に対して、練習量や練習内容をどのようにチェックしていくのかを検討してく必要がある。（謝金のチェックも含む）

●地域クラブ指導者の人数が急増するため、事務局としての対応方法を検討していく必要がある。（申請・登録・報告など）

◎二次元コード等を活用し、WEBで活動報告やチェックができるように、システムを構築する必要がある。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括及び成果の評価

・各競技種目の連盟・協会に運営団体として進めるように依頼したことで、それぞれで地域クラブの立ち上げや、そこに関わる指導者の配置について動いていただき、一部を除く競技種目において、令和７年度４月から地域クラブとしてスタートする準備が整いつつある。

＜評価＞ 連盟・協会のへの依頼を行ったことが、地域移行の立ち上げ及び指導者の確保といった成果として表れている。

・指導者の確保等、連盟・協会だけでは運営が難しい競技種目については、地域移行事務局（教育委員会）が運営団体となり、連盟・協会と協力・連携していくことで、地域クラブが活動できるようにしていくように準備している。

＜評価＞ 一部の競技種目において、指導者の確保や相談体制の充実、地域クラブの運営管理等、事務局（地域移行教育委員会）の協力を望んでいるので、これについても対応していくことは、子どもの活動を保障するうえでも非常によいことであった。

・地域クラブ指導者の謝金の補助について、今年度は２３人であったが、各地域クラブからは非常に助かっているとの声が聞こえてきている。また、市では１クラブにつき、２人までの登録と制限をかけ、金額的もある程度提示していたので、活動報告においてもそれに合わせて調整をすることができた。

＜評価＞ →地域クラブ指導者謝金の補助は、指導者だけでなく、保護者の経済的負担軽減にもつながっているので、非常に大きな成果として表れている。

・指導者の質の向上については、県のガイドラインの遵守とコンプライアンスについて研修等で各指導者への説明を行った。＜評価＞ 特に問題は起きていない。

●今後に向けて

【令和７年度４月～　一部を除く競技種目において、地域クラブとして活動をスタート】

・部活動として残っている競技種目について、指導者の確保や地域クラブの体制づくりなど、半年の間に移行の準備をしていく。

・地域クラブ指導者の謝金について、令和７年度は大幅に人数が増える見込みのため、国の実証事業を活用して、指導者への対応としていきたい。また、支出に関わって、かなりの大人数になることから、活動内容及び時間の報告を行うシステムの構築をして、スムーズに手続きができるように準備していく。指導者の謝金について足りない部分については、受益者負担で対応するようにしていく。

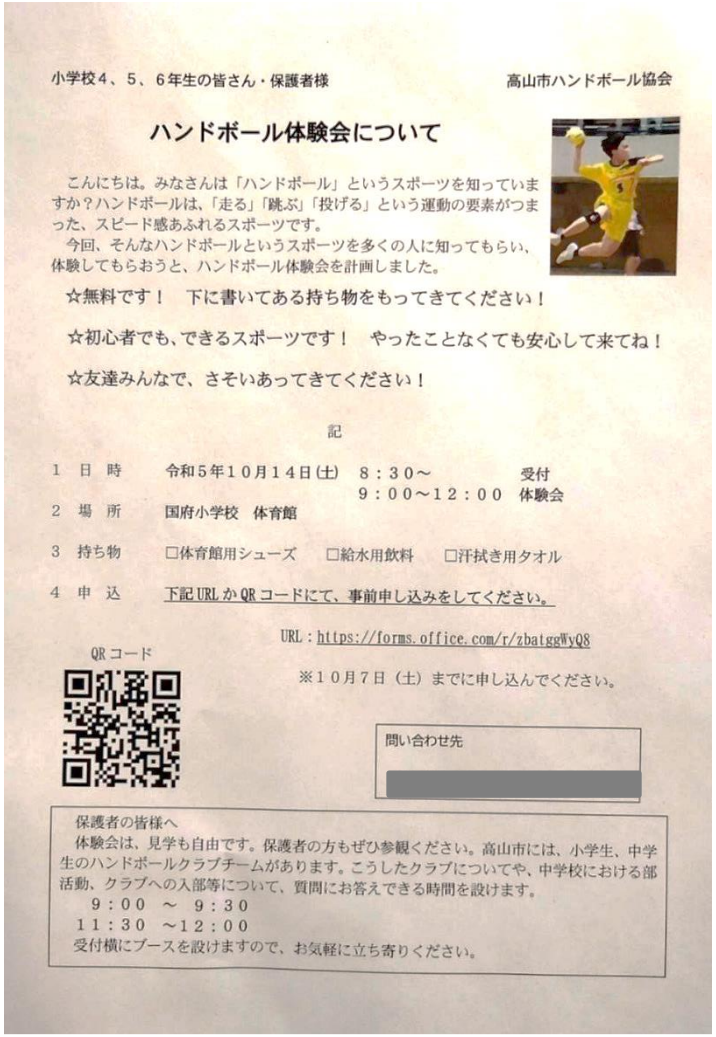
・令和７年度からも、市では平日の部活動を行っていく。平日部活動の地域移行については、国の方針が示されているので、市でも検討をしていく。

・令和７年から地域クラブとしての活動開始となるが、その都度、出てきた課題点を連盟・協会と事務局、そして学校が協力・連携をして解決することで、よりよい運営・活動となるようにしていきたい。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

広報の資料・参加者の声



小学校4、5、6年生の皆さん・保護者様　　高山市ハンドボール協会

ハンドボール体験会について

こんにちは。みなさんは「ハンドボール」というスポーツを知っていますか？ハンドボールは、「走る」「跳ぶ」「投げる」という運動の要素がつまった、スピード感あふれるスポーツです。
今回、そんなハンドボールというスポーツを多くの人に知ってもらい、体験してもらおうと、ハンドボール体験会を計画しました。

☆無料です！　下に書いてある持ち物をもってきてください！

☆初心者でも、できるスポーツです！　やったことなくても安心して来てね！

☆友達みんなで、さそいあってきてください！

記

1　日　時　　令和5年10月14日(土)　8：30～　受付
　　9：00～12：00　体験会
2　場　所　　国府小学校　体育館
3　持ち物　　□体育館用シューズ　□給水用飲料　□汗拭き用タオル
4　申　込　　下記URLかQRコードにて、事前申し込みをしてください。

URL：https://forms.office.com/r/zbatggWyQ8

QRコード

※10月7日（土）までに申し込んでください。

問い合わせ先

保護者の皆様へ
体験会は、見学も自由です。保護者の方もぜひ参観ください。高山市には、小学生、中学生のハンドボールクラブチームがあります。こうしたクラブについてや、中学校における部活動、クラブへの入部等について、質問にお答えできる時間を設けます。
9：00　～　9：30
11：30　～12：00
受付横にブースを設けますので、お気軽に立ち寄りください。

【ハンドボール体験会のチラシ】 出典:高山市ハンドボール協会

●地域クラブについて「生徒・保護者・指導者の声」

中学３年生
自校では部員数が少なく、今までに個人戦しか出られなかったですが、地域クラブになったことで、練習から多くの仲間と活動ができて、さらに団体戦にまで出場することができてうれしかった。よい経験ができた。

中学１年生
中学校に入学する前はどうなるのか不安だったけど、平日は学校部活動、休日は地域クラブに所属して活動を進めることができた。そこでは、専門的な指導を受けることができて、様々な面で自分自身を成長せることができた。

指導者
地域クラブを運営していくために、保護者等の経済的負担が心配であったが、市で国の実証事業を活用して謝金の補助をいただいたおかげで、多少なりとも負担が軽減できたと思う。今後もぜひ継続していただきたい。

保護者
支所地域の学校に所属している子が、部活動ではやりたいことを行うことができなかったが、地域クラブがあることで、そこに所属して活動することができている。とてもうれしい反面、移動に関わって保護者の負担は増えるのは仕方がないと考えるが、何かしていただけるのか。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【中体連東海大会激励会（地域クラブ出場多数）】



【中体連「高山道場：柔道」】東海･全国大会出場



【中体連「高山JBC：バドミントン」】



【中体連「Glanz飛騨：ハンドボール」）】東海大会出場

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和２、３年
中学校部活動検討委員会の設置、検討開始（生徒･保護者･教員アンケート実施）
▶
各競技種目代表者との懇談を経て、地域移行の形を模索
▶
令和４、５年
一部の競技種目（２種目）で、地域クラブとして活動開始
▶
学校、家庭、市民等への説明（広報にてPR）
▶
令和６年
地域クラブ活動開始→６種目でスタート
▶
令和７年
地域クラブ活動の拡大→４月には地域移行が進み活動開始

●令和２～３年

国の方針が示される→県・市検討

●経過
部活動改革スタート。生徒・保護者・教職員等へのアンケート実施

●実施にあたって生じた課題
地域移行の方向性が定まらず、移行の形を検討する必要あり。各競技種目との懇談が必要。

●実施内容、工夫した点 等
まずは各競技種目の代表者との懇談を経て、地域移行の形を模索していくことを決定。
10月に部活動改革検討委員会を設置した。継続して実施していく。

●令和４～５年

県の方針を受けて、市は令和８年4月スタートを目指すことを決定

●経過
合同部活動（サッカー）や拠点方式の部活動（軟式野球）を活用しながら、各競技種目の代表者との懇談を進めた。一部の競技種目で地域クラブの活動を開始した。

●実施にあたって生じた課題
活動をしながら課題点を明らかにしていくこととした。「人・もの・場所」と費用が課題。検討を進める。

●実施内容、工夫した点 等
地域移行が進んでいない競技種目の代表者との懇談を経て、地域移行の形を決定し、地域クラブの立ち上げに向けて準備を進めた。

連盟・協会主体の地域クラブが発足（3種目）した。

柔道では、合同部活動（拠点方式）から市を１つにまとめて地域クラブ（高山道場）を発足。（少子化、人数不足解消）ハンドボールでは、市内誰でも加入できる地域クラブ（協会主体）を１つ発足した。剣道では、剣道会で地域クラブを立ち上げ、学校を組み合わせ東西南北４つのクラブを設置した。指導者は、連盟・協会に所属している方や教職員を中心に配置された。（広報等で市民へ周知）

国の補助事業活用（指導者謝金、学校施設改修工事）

●令和６～７年

新たに3種目で地域クラブがスタート

令和6年11月に中学校部活動地域移行検討委員会拡大プロジェクト会議において、令和7年4月の地域クラブスタートを決定（連盟・協会主体の地域移行とするため、代表者に依頼）

●経過
令和6年、バドミントン、ソフトテニス、バレーボール、卓球の一部で地域クラブを設置した。
11月～1月末の間で、連盟・協会において地域クラブの概要を決定。

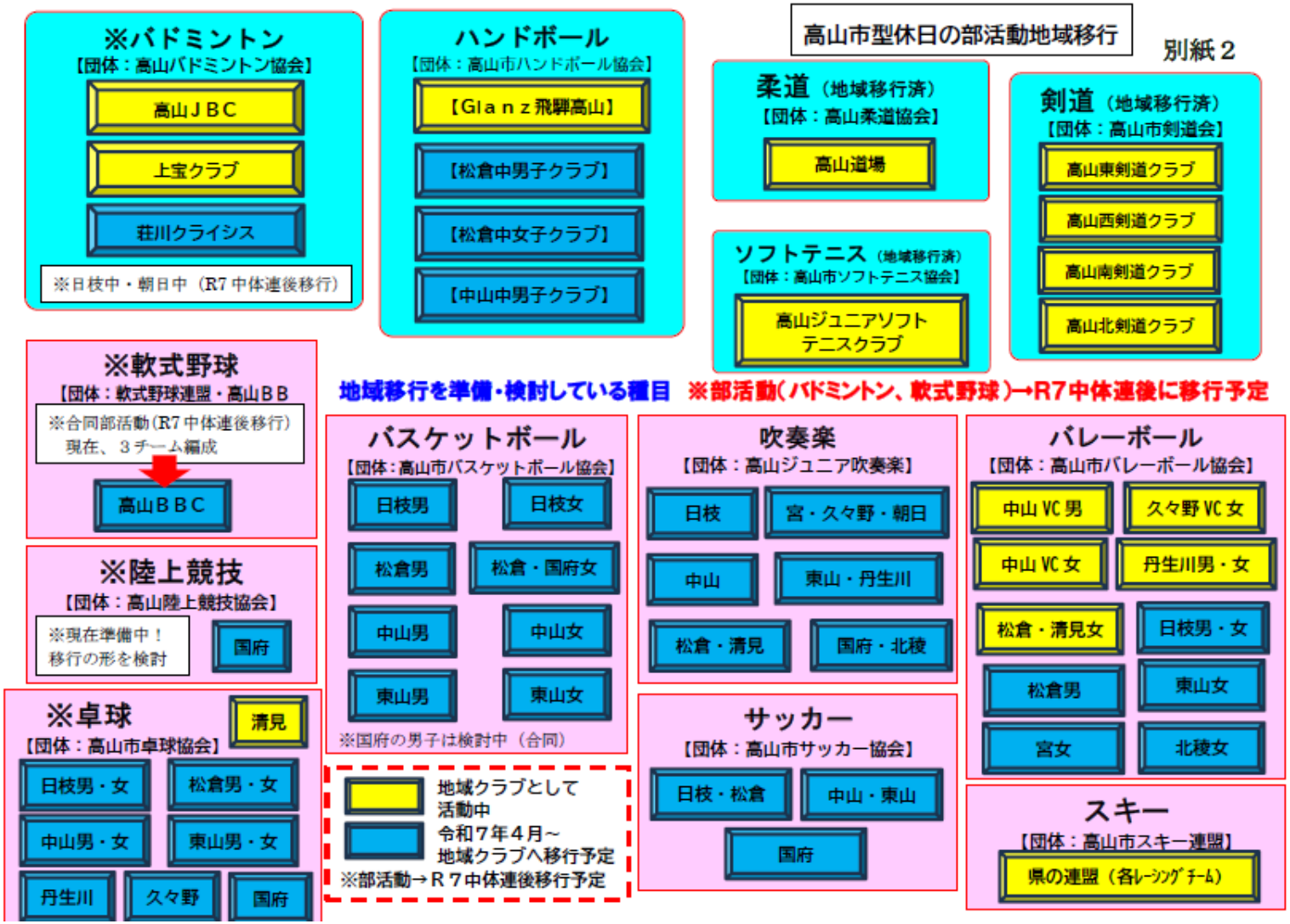
●実施にあたって生じた課題
指導者の確保、質の向上（研修）
安定的な活動場所の確保
支所地域と高山地域の移動手段

●実施内容、工夫した点 等
連盟・協会に依頼して、地域クラブ及び指導者の確保を行った。
国の補助事業を継続活用

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



Ｒ７　４月
・地域クラブ登録
・指導者登録
　（謝金）
・山間バス対応

Ｒ７　９月
・すべての競技種目において完全地域移行完了

Ｒ８～
平日の地域移行について検討スタート